令和5年度　　江戸川区立鹿本中学校　『特別の教科　道徳』教育全体計画

【法的根拠】
日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

学校の教育目標
〇自律
〇敬愛
〇探求

【地域の実情】
【学校の実情】
【生徒の実態】
【教師の願い】
【保護者の願い】

本校の道徳教育の重点目標

・教育活動全体を通じて自主的な活動を促し、自ら考え判断する力を高め障害のある人との共生の在り方を学ばせ、心豊かな生徒を育成する。
・年間指導計画に基づき、人権尊重の精神、自主・自律、思いやり、生命の尊重、勤労の尊重、社会規範の遵守、情報モラル、ボランティア精神の涵養を重点に、補助資料を活用しながら、道徳的実践力を育てる。
・道徳教育推進教師を中心に課題を明確にして全教職員で取り組む。
・道徳性の醸成を図るために、家庭や地域との連携を通して体験学習やボランティア活動等を積極的に取り入れる。
・「道徳授業地区公開講座」を通して、本校における道徳教育を家庭・地域に広め、家庭・地域と共に心の教育に取り組む。

各学年の指導の重点

第1学年
・中学生としての自覚を持たせ、学校生活を有意義に過ごさせる。
・集団生活における人間関係を築き、深めさせるとともに集

第2学年
・集団生活の意義を理解させ、集団の向上に寄与する姿勢や態度を育てる。
・中堅学年としての自覚と責任を持たせ、積極的に実践

第3学年
・集団生活の中で、自己を生かす能力や他を尊重する態度を育てる。
・人間としての生き方を学ぶ中で、自己を生かし進路を切

各教科

国語
文字や言葉で表現したり聞き取る学習を通し伝達能力を高め、他者との円滑な意思疎通能力を身

社会
歴史や地理の学習を通し、自国の理解や国際理解に役立たせ、公民的資質の基礎を養う。

数学
数理的解決力を育むことで問題解決能力を養いながら真理を追究しようという姿勢を身に付け遂行力を高める。

理科
自然への理解を深め、自然愛護の精神を養いつつ、ものごとの科学的な認識力を高める。

音楽
音楽に触れることで豊かな情操を養い、鑑賞・合唱を通して美しいものに感動する心情を培う。

美術
作品の制作を通し、創造力や遂行力を高め、鑑賞を通して美しいものに感動する清らかな心情を耕す。

保健体育
能力に応じた課題学習を通して、前向きな態度を養い、集団競技では他者とのかかわりの重要さを学ぶ。

技術・家庭
体験的学習を通して、生活を充実させる方法を学び、情報処理の正しいあり方を身に付ける。

外国語
言葉を通して広く世界に思いをはせ、国際協調のあり方を考える

読書科
読書を通して豊かな心の育成を図る。

特別の教科　道徳

各学年の重点内容項目

全学年
D-(19)生命の尊さについて，その連続性や有限性なども含めて理解し，かけがえのない生命を尊重すること。

1年
A-(3)自己を見つめ，自己の向上を図るとともに，個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。
B-(8)友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち，互いに励まし合い，高め合うとともに，異性についての理解を深め，悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。

2年
A-(2)望ましい生活習慣を身に付け，心身の健康増進を図り，節度を守り節制に心掛け，安全で調和のある生活をすること。
C-(15)学級や学校の一員としての自覚をもち，協力し合ってよりよい校風をつくるとともに，様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。

3年
A-(4)より高い目標を設定し，その達成を目指し，希望と勇気をもち，困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。
D-(22)人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生き

指導方針
学校教育全般での道徳教育をさらに深化・補充・統合し、生徒一人一人が道徳的価値を内面的にとらえ、人間としての生き方について自覚し、主体的に道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度を身に付ける時間とする。

指導の工夫
・課題の設定や、資料の開発・提示方法を工夫する。特に指導過程においては、生徒の実態に応じた発問や話し合いの方法を工夫する。
・体験学習を想定した主題や題材を扱う際は、学年や学校全体での指導の協力体制のもと、学級を超えての授業展開を工夫する。
・指導方法の改善に努め、体験学習を生かすなど学習活動の多様化を図る。また、プレゼン

特別活動

学級活動
・学校生活へ適応させ、自ら学ぶ力を育て、学業生活を充実させる。
・学級での役割を全員で分担し自己の可能性を追求するとともに、人間関係を築き深める。

生徒会活動
・中学生らしい文化活動を活発にすることを通して、文化の継承と創造に取り組み、学校生活の向上を図る。
・生徒会の各組織の活動を活発にするとともに協

学校行事
・学校生活の中に望ましい変化を与える集団活動により、日常の学習の成果を総合的に発展させ、生徒の体験を豊かにすることにより学校生活を充実させる。
・また、感動的な体験をすることにより、人間とし

総合的な学習の時間

・問題解決や探究活動を主体として、環境・福祉・健康・情報・国際理解等の社会的な課題に、体験的・実証的・創造的に取り組み、学ぼうとする自己開発力を育てる。
・交流教育を学校全体で通年にわたり実施し「共に生きる」をテーマに推進し、認め合い、励まし合い、高め合っていける生徒の育成を目指す。
・学年を単位として「生き方を考える」をテーマに推進し、共生の心を養う。

生活指導
教師と生徒、生徒相互の心の交流に努め、特に教師と生徒の間の受容と共感による信頼関係の醸成に努める。

環境整備
生徒の「心の居場所」となる生活・学習環境の構築と整備に努める。

家庭・地域との連携
家庭・地域と連携し、道徳的価値に目覚めた自主的・自発的・自律的な生徒を育てるための情報や援助方法を共有する。

推進体制
校長の方針の下、道徳教育推進教師を中心として、校内研修体制を充実させ、全体計画の評価改善にかかわる全教員の共通理解を図る。